

東北中央自動車道
村山地域

大規模な軟弱地盤対策の工事に着手します！

～現場見学会を随時受け～

山形河川国道事務所では、東北中央自動車道（東根～尾花沢）の事業を行っておりますが、9月より村山地域の軟弱地盤対策工事に着手します。

このことから、報道機関を対象とした現場見学会を下記のとおり開催します。

また、当事務所では工事現場や施設についてより多くの皆様から知っていただくため「知ってなっとく！公共事業」の取り組みを行っており、軟弱地盤対策工事の現場見学会も随時受けします。

■報道機関を対象とした現場見学会について

- ・開催日時：9月11日（火）13：30～
- ・集合場所は別添資料－1
- ・参加希望の場合は、9月7日までに下記の「知ってなっとく！公共事業」担当あて連絡をお願いいたします。
- ・なお、当日の気象状況により日程の変更をすることがあります。

- 東北中央自動車道の村山市周辺は、山形盆地の北部に位置し、昔山形盆地の地殻変動により湖沼であったことから水を多く含む泥や軟弱な粘性土が堆積しています。
- ・軟弱な地盤は、道路延長4kmに渡り、最大深さが約180mもあり、高速道路の盛土の安定や沈下が課題となっています。
- ・この軟弱な地盤に対応するため、経済性や施工性などから、カードボードドレーン工法と真空圧密工法を選定し今年軟弱地盤対策の施工に着手します。（真空圧密工法は試験施工となります。）

■軟弱地盤対策の内容

◇軟弱地盤対策の範囲（別添資料－2）

◇カードボードドレーン工法

盛土により圧力をかけ地盤内の水分を排出し、地盤の強度増加を図ります。

※9月～10月頃の施工を予定しています。

◇真空圧密工法

地盤に含まれる水や空気をポンプで排出し、地盤の強度増加を図ります。

※9月～10月頃の施工を予定しています。

[発表記者会：山形県政記者クラブ]

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所

●現場担当：

工務第二課 専門官 工藤 嘉則(467)

電話 023(688)8930(工務第二課直通)

●道路事業担当：

工務第二課長 大澤 尚史(411)

電話 023(688)8930(工務第二課直通)

●「知ってなっとく！公共事業」担当：

計画課長 井上 秀秋(261)

電話 023(688)8932(計画課直通)

集合場所 ※村山市河島地内

村山市役所

資料-1

至 新庄市

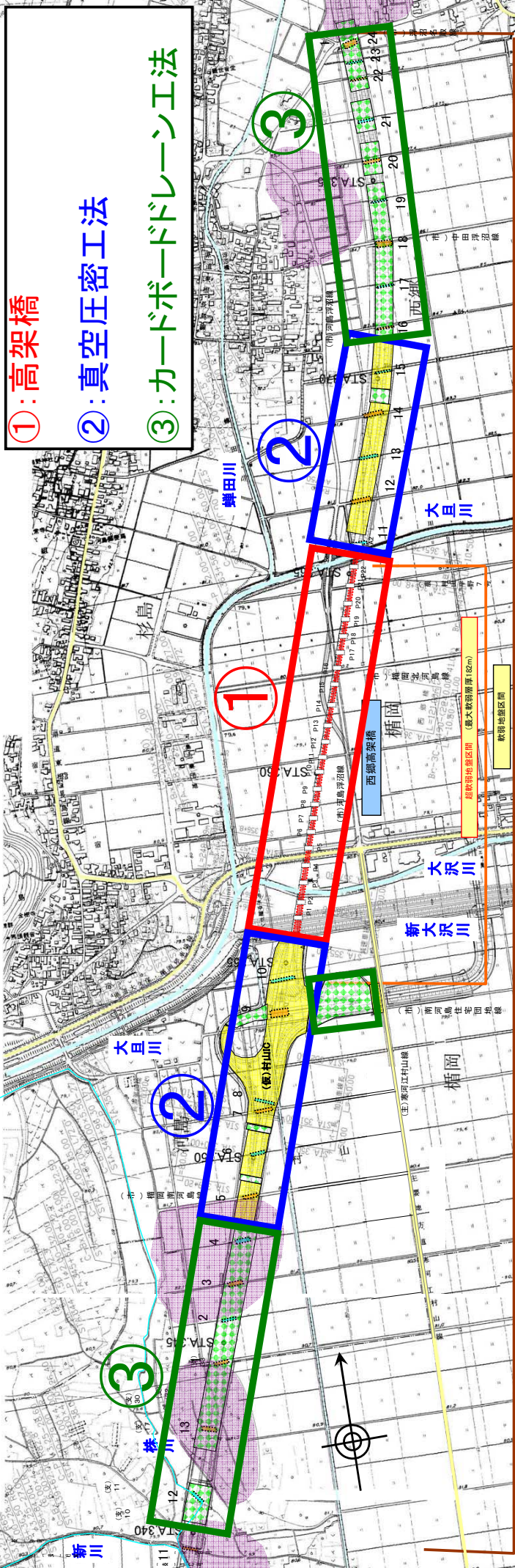


拡大図



軟弱地盤エリアの施工内容

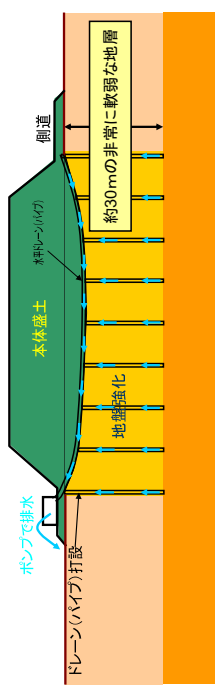
S=1/10,000



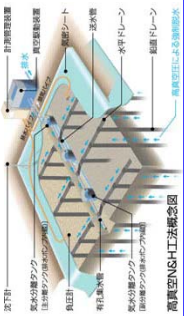
- ①: 高架橋
- ②: 真空圧密工法
- ③: カードボードドレイン工法

②真空圧密工法

地盤にドレーン(パイプ)を打ち込むとともに水平方向にもドレーン(パイプ)を設置し、ポンプにより水分を吸出すことにより、軟弱地盤を密度の高い地盤にします。それによって安定した状態で盛土を行うことができます。



【特徴】
 ■地盤内の水や空気を積極的に排出することにより、短期間に均質・確実な地盤改良を実現し、工期短縮と工費削減が図れます。
 ■改良地盤の挙動は、改良部内側に向けた体積収縮であるため、載荷盛土工法に比べ、周辺地盤への影響も軽微です。

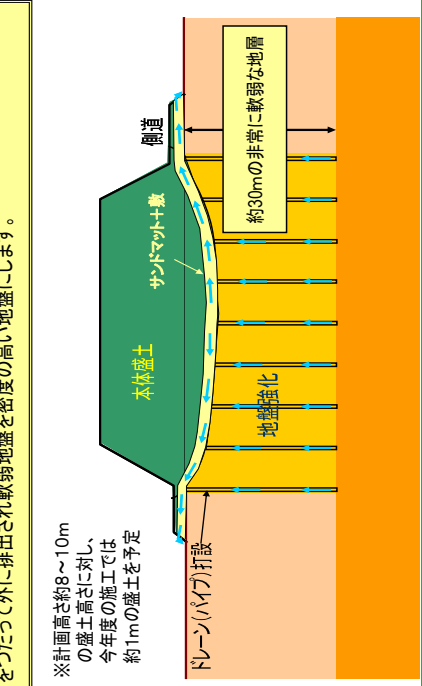


鉛直ドレーン打設状況



③カードボードドレイン区間

地盤にドレーン(パイプ)打ち込んで、盛土を行うことにより、軟弱地盤の水分がサンドマットをたつたて外に排出され軟弱地盤を密度の高い地盤にします。



※計画高さ約8~10mの盛土高さに対し、今年度の施工では約1mの盛土を予定